

Ⅱ 調査結果の概要

[学校調査]

1 大 学

(1) 学 校 数 (表1)

学校数は783校(国立86校, 公立92校, 私立605校。通信教育のみを行う学校(私立7校)を除く。)で, 前年度より3校増加している。

表1 大学の設置者別学校数

区 分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成14	686	99	75	512	74.6
19	756	87	89	580	76.7
20	765	86	90	589	77.0
21	773	86	92	595	77.0
22	778	86	95	597	76.7
23	780	86	95	599	76.8
24	783	86	92	605	77.3

(2) 学 生 数 (表2)

学生数は, 2,876,134人(男子1,670,000人, 女子1,206,134人), 前年度より17,355人減少している。

また, 学生数のうち学部学生は2,560,909人, 大学院学生は263,289人〔修士課程※1 168,903人, 博士課程※2 74,316人, 専門職学位課程20,070人〕, 専攻科・別科等の学生は51,936人である。

※1: 修士課程には, 博士前期課程(一貫制博士課程の1・2年次の課程を含む。)を含む。以下同じ。

※2: 博士課程には, 博士後期課程(一貫制博士課程の3・4・5年次の課程を含む。)及び歯医学, 薬学及び獣医学関係の4年一貫制課程を含む。以下同じ。

- ① 学生数を設置者別にみると, 国立618,134人(学生数の21.5%), 公立145,578人(同5.1%), 私立2,112,422人(同73.4%)である。
- ② 女子学生の占める割合は41.9%で, 前年度より0.4ポイント上昇している。

表2 学生数(大学)

区 分	計	うち学部			うち女子	社会人 / a	女子の占 める比率	国 立	公 立	私 立
		うち学部	うち大学院 a	うち社会人						
	人	人	人	人	人	%	%	人	人	人
平成14	2,786,032	2,499,147	223,512	33,171	1,059,944	14.8	38.0	621,487	116,705	2,047,840
19	2,828,708	2,514,228	262,113	51,142	1,126,751	19.5	39.8	627,402	129,592	2,071,714
20	2,836,127	2,520,593	262,686	53,667	1,140,755	20.4	40.2	623,811	131,970	2,080,346
21	2,845,908	2,527,319	263,989	54,642	1,158,390	20.7	40.7	621,800	136,913	2,087,195
22	2,887,414	2,559,191	271,454	55,345	1,185,580	20.4	41.1	625,048	142,523	2,119,843
23	2,893,489	2,569,349	272,566	54,994	1,200,182	20.2	41.5	623,304	144,182	2,126,003
24	2,876,134	2,560,909	263,289	54,195	1,206,134	20.6	41.9	618,134	145,578	2,112,422

(3) 関係学科別学部学生の構成 (表3)

学部学生の関係学科別構成比をみると、「社会科学」が33.7%で最も高く、次いで「工学」(15.2%)、「人文科学」(14.8%)等の順である。

さらに、その年次推移をみると、「教育」、「薬学」の比率は年々上昇してきているが、「人文科学」、「社会科学」、「工学」の比率が低下している。

(4) 専攻分野別大学院学生の構成 (表3, 図1)

大学院修士課程の専攻分野別構成比をみると、「工学」が41.8%で最も高く、次いで「社会科学」(10.9%)、「理学」(8.5%)等の順である。

さらに、その年次推移をみると、「社会科学」の比率が低下してきている。

大学院博士課程の専攻分野別構成比をみると、「医・歯学」が27.5%で最も高く、次いで「工学」(18.5%)、「社会科学」(9.0%)等の順である。

さらに、その年次推移をみると「人文科学」、「社会科学」の比率が低下している。

大学院専門職学位課程の専攻分野別構成比をみると、「社会科学」が81.5%で最も高く、次いで「教育」(8.2%)の順である。

また、大学院学生のうち、「社会人」(①5月1日現在、職に就いている者(給料,賃金,報酬その他の経常的な収入を得る仕事に就いている者),②給料,賃金,その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した者及び③主婦・主夫)は修士課程では19,182人(男子9,865人,女子9,317人)で、学生数に占める割合は11.4%,博士課程では27,071人(男子18,507人,女子8,564人)で、学生数に占める割合は36.4%,専門職学位課程では7,942人(男子6,014人,女子1,928人)で、学生数に占める割合は39.6%である。これを各専攻分野ごとに「社会人」の占める割合をみると、修士課程では「社会科学」が33.6%で最も高く、次いで「医・歯学」(28.0%)であり、博士課程では「医・歯学」が52.9%で最も高く、次いで「社会科学」(36.8%)であり、専門職学位課程では「医・歯学」が69.2%で最も高く、次いで「工学」(59.9%)である。

表3 関係学科・専攻分野別学生数の比率の推移 (大学・大学院)

(1) 学部学生

区 分	関 係 学 科 別 学 生 の 構 成 比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成14	100.0	16.5	39.4	3.5	18.3	2.8	2.6	1.6	2.0	5.4	8.1
19	100.0	15.8	36.3	3.4	16.7	2.9	2.5	2.1	2.6	5.9	11.8
20	100.0	15.6	35.8	3.3	16.3	3.0	2.5	2.2	2.6	6.1	12.6
21	100.0	15.4	35.3	3.2	16.0	3.0	2.5	2.1	2.6	6.3	13.6
22	100.0	15.2	34.9	3.2	15.7	3.0	2.5	2.4	2.7	6.5	13.9
23	100.0	15.0	34.2	3.2	15.4	2.9	2.6	2.8	2.7	6.7	14.5
24	100.0	14.8	33.7	3.2	15.2	3.0	2.6	2.9	2.7	7.0	15.0

(注1) 「その他」には学科系統分類における「その他」の他、医・歯・薬学を除く「保健」、「商船」「芸術」を含む(以下同じ)。

(注2) 表中のパーセンテージは四捨五入されているため、合計しても100.0%にはならない場合がある(以下同じ)。

(2) 大学院修士課程

区 分	専 攻 分 野 別 学 生 の 構 成 比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成14	100.0	8.3	15.1	8.6	39.6	5.2	0.5	2.9	…	7.6	12.2
19	100.0	7.8	11.6	8.4	39.4	5.5	1.0	3.1	0.6	7.3	15.3
20	100.0	7.8	11.3	8.3	39.5	5.5	1.1	3.2	0.6	6.9	15.8
21	100.0	7.5	11.2	8.2	39.8	5.5	1.1	3.3	0.6	6.5	16.3
22	100.0	7.4	11.1	8.2	41.5	5.5	1.0	2.3	0.6	6.2	16.2
23	100.0	7.3	11.0	8.3	42.4	5.5	1.0	1.3	0.6	6.1	16.3
24	100.0	7.4	10.9	8.5	41.8	5.5	1.0	1.3	0.6	6.3	16.8

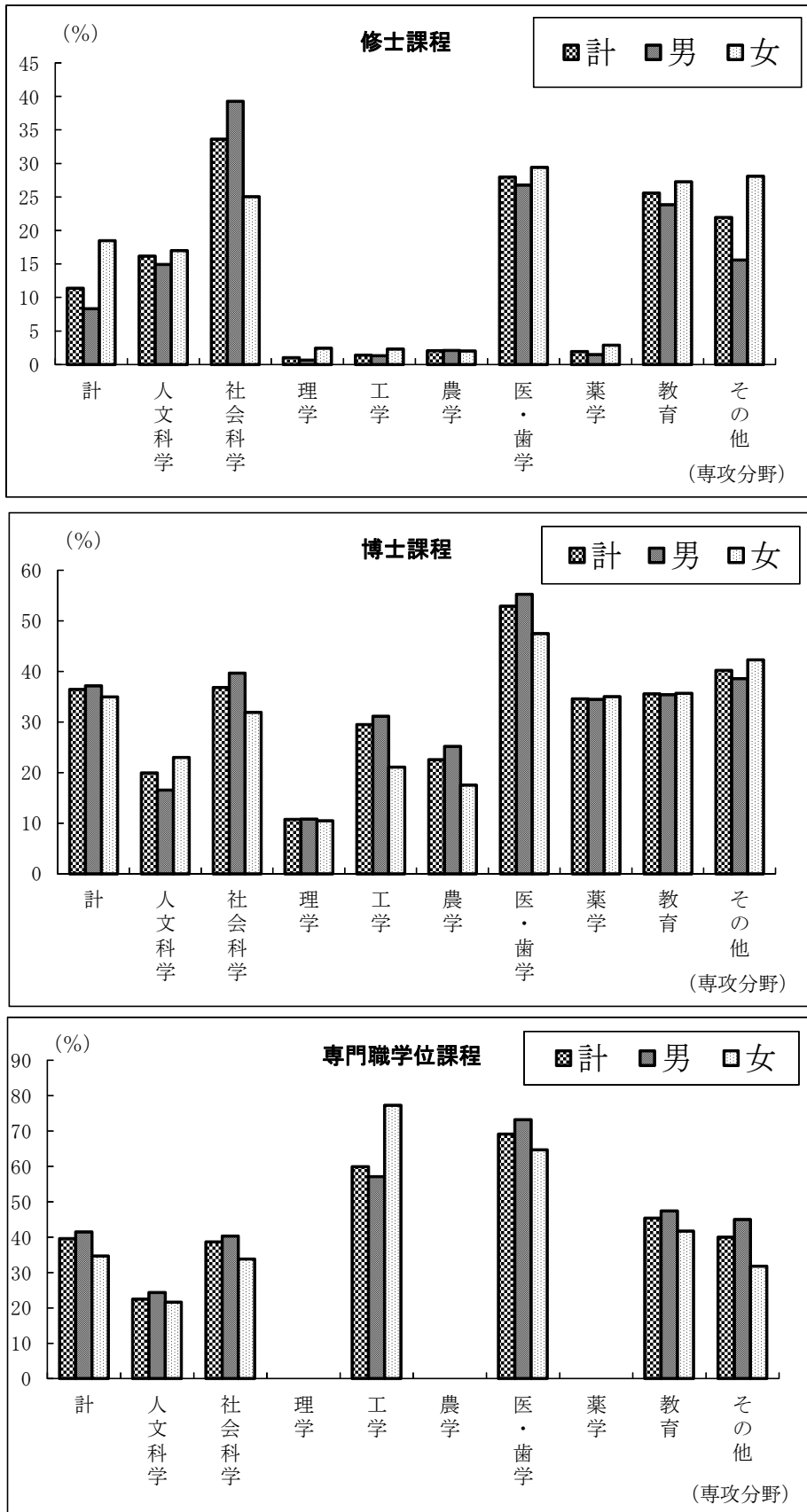
(3) 大学院博士課程

区 分	専 攻 分 野 別 学 生 の 構 成 比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成14	100.0	10.7	10.3	9.1	18.3	6.4	28.2	1.7	…	2.5	12.7
19	100.0	10.3	10.0	7.7	18.6	5.7	26.3	1.9	0.5	2.6	16.4
20	100.0	10.1	9.9	7.2	18.5	5.5	26.7	1.8	0.5	2.7	17.1
21	100.0	9.9	9.7	7.0	18.4	5.4	26.8	1.8	0.5	2.9	17.6
22	100.0	9.5	9.4	6.9	18.6	5.2	27.3	1.8	0.5	2.9	17.9
23	100.0	9.0	9.2	7.0	18.6	5.2	27.5	1.8	0.4	2.9	18.2
24	100.0	8.7	9.0	7.0	18.5	5.1	27.5	2.2	0.4	3.1	18.6

(4) 大学院専門職学位課程

区 分	専 攻 分 野 別 学 生 の 構 成 比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成14	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
19	100.0	0.5	93.9	—	0.8	—	0.5	—	—	0.3	4.1
20	100.0	0.7	90.7	—	1.0	—	0.6	—	—	3.1	3.9
21	100.0	0.9	86.9	—	1.3	—	0.5	—	—	5.9	4.5
22	100.0	1.1	84.7	—	1.5	—	0.5	—	—	7.2	5.0
23	100.0	1.2	83.1	—	1.6	—	0.5	—	—	7.7	5.9
24	100.0	1.2	81.5	—	1.6	—	0.5	—	—	8.2	6.9

図1 専攻分野別社会人大学院学生の構成比



(注)「その他」には学科系統分類における「その他」の他、医・歯・薬学を除く「保健」、「商船」「家政」「芸術」を含む (以下同じ)。

(5) 入学状況 (表4, 表5)

ア. 大学(学部)への入学状況

大学学部への入学者数は、605,390人(国立101,181人,公立30,017人,私立474,192人)で、前年度より7,468人減少している。

- ① 入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した大学の所在地県」との関係を見ると、大学(学部)の入学者のうち、「自県(出身高等学校と同一県)内の大学へ入学した者の比率」は42.0%(前年度より0.1ポイント上昇)である。
- ② これを男女別にみると、男子は40.0%(前年度より0.1ポイント上昇),女子は44.5%(前年度より0.1ポイント上昇)である。

イ. 大学院への入学状況

大学院への入学者数は、修士課程では74,985人(男子53,381人,女子21,604人)で前年度より4,400人減少しており、博士課程では15,557人(男子10,674人,女子4,883人)で前年度より128人減少,専門職学位課程では7,545人(男子5,563人,女子1,982人)で前年度より528人減少している。

修士課程の入学者数を年齢別に見ると、「22歳」が38,705人(51.6%)で最も高く、次いで「23歳」17,249人(23.0%),「24歳」5,355人(7.1%)等の順となっている。

また、修士課程の入学者のうち、「社会人」は7,477人(10.0%),「留学生」は7,608人(10.1%)である。

博士課程の入学者数を年齢別に見ると、「30~34歳」が3,131人(20.1%)で最も高く、次いで「24歳」2,804人(18.0%),「25歳」2,166人(13.9%)等の順となっている。

また、博士課程の入学者のうち、「社会人」は5,790人(37.2%),「留学生」は2,250人(14.5%)である。

専門職学位課程の入学者数を年齢別に見ると、「22歳」が1,912人(25.3%)で最も高く、次いで「23歳」1,278人(16.9%),「30~34歳」905人(12.0%)等の順となっている。

また、専門職学位課程の入学者のうち、「社会人」は3,181人(42.2%),「留学生」は395人(5.2%)である。

専門職学位課程のうち法科大学院の入学者を年齢別に見ると、「22歳」が1,057人(33.6%)で最も高く、次いで「23歳」778人(24.7%),「24歳」318人(10.1%)等の順となっており、入学者のうち「社会人」が678人で21.5%を占めている。

また、教職大学院の入学者を年齢別に見ると、「22歳」が293人(37.5%)で最も高く、次いで「40~44歳」135人(17.3%),「35~39歳」110人(14.1%)等の順となっており、入学者のうち「社会人」が383人で49.0%を占めている。

表4 入学状況(大学, 大学院)

区分	学部入学状況							大学院入学者数								
	入学者数				自県内入学率			修士課程		博士課程		専門職学位課程				
	計	国立	公立	私立	計	男	女	うち社会人		うち社会人		うち社会人	うち法科大学院	うち教職大学院		
人	人	人	人	%	%	%	人	人	人	人	人	人	人	人		
平成14	609,337	103,301	24,276	481,760	39.3	37.9	41.2	73,636	8,431	17,234	…	…	…	…	…	
19	613,613	102,455	26,967	484,191	41.0	39.4	43.2	77,451	8,470	16,926	5,417	9,059	3,328	5,709	…	
20	607,159	102,345	27,461	477,353	41.2	39.6	43.3	77,396	8,249	16,271	5,552	9,468	3,794	5,393	641	
21	608,731	101,847	28,414	478,470	41.5	39.8	43.7	78,119	8,192	15,901	5,314	9,247	3,794	4,843	747	
22	619,119	101,310	29,107	488,702	42.0	40.3	44.2	82,310	7,930	16,471	5,384	8,931	3,626	4,121	805	
23	612,858	101,917	29,657	481,284	41.9	39.9	44.4	79,385	7,547	15,685	5,462	8,073	3,047	3,619	732	
24	605,390	101,181	30,017	474,192	42.0	40.0	44.5	74,985	7,477	15,557	5,790	7,545	3,181	3,147	782	

表5 大学院の年齢別入学状況

(1) 修士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	74,985 (100.0)	299 (0.4)	38,705 (51.6)	17,249 (23.0)	5,355 (7.1)	2,581 (3.4)	1,655 (2.2)	1,113 (1.5)	867 (1.2)	666 (0.9)	2,078 (2.8)	1,399 (1.9)	1,025 (1.4)	798 (1.1)	509 (0.7)	384 (0.5)	302 (0.4)	7,477 (10.0)	7,608 (10.1)
男	53,381 (100.0)	176 (0.3)	29,394 (55.1)	12,962 (24.3)	3,603 (6.7)	1,563 (2.9)	943 (1.8)	598 (1.1)	489 (0.9)	393 (0.7)	1,155 (2.2)	760 (1.4)	478 (0.9)	304 (0.6)	169 (0.3)	199 (0.4)	195 (0.4)	3,880 (7.3)	3,460 (6.5)
女	21,604 (100.0)	123 (0.6)	9,311 (43.1)	4,287 (19.8)	1,752 (8.1)	1,018 (4.7)	712 (3.3)	515 (2.4)	378 (1.7)	273 (1.3)	923 (4.3)	639 (3.0)	547 (2.5)	494 (2.3)	340 (1.6)	185 (0.9)	107 (0.5)	3,597 (16.6)	4,148 (19.2)

(2) 博士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	15,557 (100.0)	— (—)	6 (0.0)	88 (0.6)	2,804 (18.0)	2,166 (13.9)	1,449 (9.3)	1,055 (6.8)	978 (6.3)	915 (5.9)	3,131 (20.1)	1,147 (7.4)	647 (4.2)	487 (3.1)	336 (2.2)	205 (1.3)	143 (0.9)	5,790 (37.2)	2,250 (14.5)
男	10,674 (100.0)	— (—)	2 (0.0)	64 (0.6)	2,095 (19.6)	1,544 (14.5)	943 (8.8)	687 (6.4)	673 (6.3)	588 (5.5)	2,244 (21.0)	741 (6.9)	397 (3.7)	277 (2.6)	195 (1.8)	127 (1.2)	97 (0.9)	3,978 (37.3)	1,253 (11.7)
女	4,883 (100.0)	— (—)	4 (0.1)	24 (0.5)	709 (14.5)	622 (12.7)	506 (10.4)	368 (7.5)	305 (6.2)	327 (6.7)	887 (18.2)	406 (8.3)	250 (5.1)	210 (4.3)	141 (2.9)	78 (1.6)	46 (0.9)	1,812 (37.1)	997 (20.4)

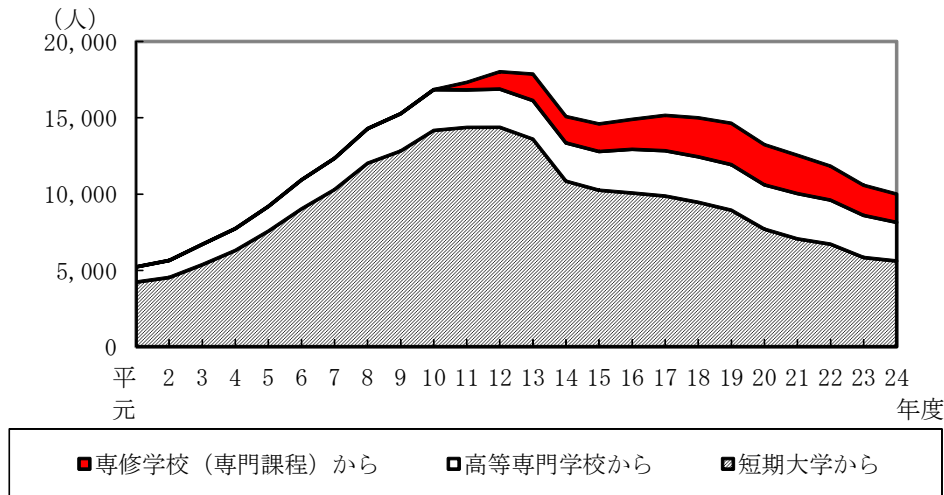
(3) 専門職学位課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	7,545 (100.0)	62 (0.8)	1,912 (25.3)	1,278 (16.9)	558 (7.4)	274 (3.6)	210 (2.8)	181 (2.4)	192 (2.5)	190 (2.5)	905 (12.0)	759 (10.1)	498 (6.6)	277 (3.7)	139 (1.8)	72 (1.0)	38 (0.5)	3,181 (42.2)	395 (5.2)
男	5,563 (100.0)	33 (0.6)	1,289 (23.2)	954 (17.1)	421 (7.6)	211 (3.8)	159 (2.9)	138 (2.5)	138 (2.5)	152 (2.7)	718 (12.9)	599 (10.8)	376 (6.8)	192 (3.5)	98 (1.8)	52 (0.9)	33 (0.6)	2,437 (43.8)	208 (3.7)
女	1,982 (100.0)	29 (1.5)	623 (31.4)	324 (16.3)	137 (6.9)	63 (3.2)	51 (2.6)	43 (2.2)	54 (2.7)	38 (1.9)	187 (9.4)	160 (8.1)	122 (6.2)	85 (4.3)	41 (2.1)	20 (1.0)	5 (0.3)	744 (37.5)	187 (9.4)
(再掲) 法科大学院																			
計	3,147 (100.0)	31 (1.0)	1,057 (33.6)	778 (24.7)	318 (10.1)	117 (3.7)	99 (3.1)	50 (1.6)	43 (1.4)	71 (2.3)	223 (7.1)	160 (5.1)	83 (2.6)	45 (1.4)	35 (1.1)	25 (0.8)	12 (0.4)	678 (21.5)	8 (0.3)
男	2,349 (100.0)	18 (0.8)	735 (31.3)	595 (25.3)	251 (10.7)	96 (4.1)	75 (3.2)	44 (1.9)	32 (1.4)	58 (2.5)	180 (7.7)	123 (5.2)	60 (2.6)	25 (1.1)	28 (1.2)	17 (0.7)	12 (0.5)	517 (22.0)	7 (0.3)
女	798 (100.0)	13 (1.6)	322 (40.4)	183 (22.9)	67 (8.4)	21 (2.6)	24 (3.0)	6 (0.8)	11 (1.4)	13 (1.6)	43 (5.4)	37 (4.6)	23 (2.9)	20 (2.5)	7 (0.9)	8 (1.0)	— (—)	161 (20.2)	1 (0.1)
(再掲) 教職大学院																			
計	782 (100.0)	— (—)	293 (37.5)	85 (10.9)	21 (2.7)	11 (1.4)	4 (0.5)	7 (0.9)	5 (0.6)	6 (0.8)	36 (4.6)	110 (14.1)	135 (17.3)	54 (6.9)	13 (1.7)	2 (0.3)	— (0.0)	383 (49.0)	2 (0.3)
男	516 (100.0)	— (—)	178 (34.5)	60 (11.6)	14 (2.7)	9 (1.7)	4 (0.8)	6 (1.2)	4 (0.8)	5 (1.0)	29 (5.6)	76 (14.7)	90 (17.4)	32 (6.2)	7 (1.4)	2 (0.4)	— (—)	265 (51.4)	— (—)
女	266 (100.0)	— (—)	115 (43.2)	25 (9.4)	7 (2.6)	2 (0.8)	— (0.0)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	7 (2.6)	34 (12.8)	45 (16.9)	22 (8.3)	6 (2.3)	— (0.0)	— (—)	118 (44.4)	2 (0.8)

(6) 大学への編入学者数 (図2)

大学(学部)への編入学者数は、10,006人で前年度より579人減少している。その内訳は、短期大学からの編入学者が5,610人(男子1,697人,女子3,913人),高等専門学校からは2,539人(男子2,186人,女子353人),専修学校(専門課程)からは1,857人(男子852人,女子1,005人)となっている。

図2 大学(学部)への編入学者数



(7) 教員数 (表6)

教員数は、本務者が177,570人(国立62,825人,公立12,876人,私立101,869人)で、前年度より886人増加している。また、兼務者は191,308人(国立38,697人,公立14,468人,私立138,143人)で、前年度より3,088人増加している。

表6 本務教員数 (大学)

区分	計			国立	公立	私立	女子教員の比率
	男	女	人				
平成14	155,050	132,160	22,890	60,930	10,860	83,260	14.8
19	167,636	137,113	30,523	60,991	11,786	94,859	18.2
20	169,914	137,862	32,052	61,019	12,073	96,822	18.9
21	172,039	138,509	33,530	61,246	12,402	98,391	19.5
22	174,403	139,349	35,054	61,689	12,646	100,068	20.1
23	176,684	140,260	36,424	62,702	12,813	101,169	20.6
24	177,570	139,850	37,720	62,825	12,876	101,869	21.2

2 短期大学

(1) 学 校 数 (表7)

学校数は、372校(公立22校、私立350校。通信教育のみを行う学校(私立1校)を除く。)で、前年度より15校減少している。

表7 短期大学の設置者別学校数

区 分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成14	541	16	50	475	87.8
19	434	2	34	398	91.7
20	417	2	29	386	92.6
21	406	2	26	378	93.1
22	395	—	26	369	93.4
23	387	—	24	363	93.8
24	372	—	22	350	94.1

(2) 学 生 数 (表8)

学生数は、141,970人(男子16,501人、女子125,469人)で、前年度より8,037人減少している。

また、学生数のうち本科学生は137,282人、専攻科・別科等の学生は4,688人である。

- ① 学生数を設置者別にみると、公立7,917人(学生数の5.6%)、私立134,053人(同94.4%)となっている。
- ② 学生数のうち女子学生の占める比率は88.4%で、前年度と同率である。

表8 学 生 数 (短期大学)

区 分	計				国 立	公 立	私 立
		うち本科	うち女子	女子の占める比率			
	人	人	人	%	人	人	人
平成14	267,086	258,319	237,029	88.7	5,800	18,834	242,452
19	186,667	179,958	164,910	88.3	184	10,815	175,668
20	172,726	166,448	153,518	88.9	52	10,565	162,109
21	160,976	155,127	143,498	89.1	3	9,973	151,000
22	155,273	149,633	137,791	88.7	—	9,128	146,145
23	150,007	145,047	132,635	88.4	—	8,487	141,520
24	141,970	137,282	125,469	88.4	—	7,917	134,053

(3) 関係学科別学生の構成(表9)

本科学生の関係学科別構成比をみると、「教育」が35.6%で最も高く、次いで「家政」(18.9%)、「人文」(10.1%)、「社会」(10.0%)等の順である。さらに、その年次推移をみると、「教育」の比率は上昇してきているが、「人文」「家政」「工業」の比率は年々低下してきている。

表9 関係学科別学生数の比率の推移（短期大学本科）

区 分	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成14	100.0	16.0	13.7	2.2	4.2	1.0	10.0	23.5	23.5	5.9
19	100.0	12.6	11.9	1.3	3.9	0.7	7.5	21.1	30.4	10.6
20	100.0	12.4	12.0	1.4	3.5	0.8	7.6	20.8	29.8	11.7
21	100.0	12.4	11.9	1.4	3.1	0.9	8.0	20.5	29.6	12.2
22	100.0	11.8	11.9	1.4	3.0	0.9	8.3	20.1	30.4	12.1
23	100.0	10.9	11.0	1.4	2.9	0.9	9.0	19.5	33.1	11.3
24	100.0	10.1	10.0	1.5	2.7	1.0	9.5	18.9	35.6	10.6

(注1)「その他」には学科系統分類における「その他」の他、「商船」「芸術」を含む（以下同じ）。

(4) 入学状況（表10）

本科への入学者数は64,063人（公立3,425人，私立60,638人）で，前年度より4,369人減少している。

- ① 入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した短期大学の所在地県」との関係を見ると，本科の入学者のうち，「自県（出身高校と同一県）内の短期大学へ入学した者の比率」は66.6%で，前年度より0.5ポイント上昇している。
- ② これを男女別にみると，男子は58.9%（前年度より1.2ポイント上昇），女子は67.6%（前年度より0.5ポイント上昇）である。

表10 入学状況（短期大学本科）

区 分	入 学 者 数				自 県 内 入 学 率		
	計	国 立	公 立	私 立	計	男	女
	人	人	人	人	%	%	%
平成14	121,441	1,558	7,753	112,130	59.9	50.5	61.1
19	84,596	—	4,724	79,872	63.3	54.5	64.4
20	77,339	—	4,697	72,642	63.7	55.2	64.7
21	73,163	—	4,185	68,978	64.0	56.8	64.8
22	72,047	—	3,871	68,176	65.1	57.4	66.1
23	68,432	—	3,624	64,808	66.1	57.7	67.1
24	64,063	—	3,425	60,638	66.6	58.9	67.6

(5) 教員数（表11）

教員数は，本務者が8,916人（公立581人，私立8,335人）で，前年度より358人減少している。また，兼務者は20,190人（公立1,095人，私立19,095人）で，前年度より949人減少している。

表11 本務教員数（短期大学）

区 分	計			国 立	公 立	私 立	女子教員 の比率
	男	女	人				
	人	人	人	人	人	人	%
平成14	14,491	7,904	6,587	534	1,691	12,266	45.5
19	11,022	5,682	5,340	—	941	10,081	48.4
20	10,521	5,381	5,140	—	803	9,718	48.9
21	10,128	5,124	5,004	—	716	9,412	49.4
22	9,657	4,835	4,822	—	692	8,965	49.9
23	9,274	4,601	4,673	—	638	8,636	50.4
24	8,916	4,420	4,496	—	581	8,335	50.4

3 高等専門学校（表12）

（1）学校数

学校数は、57校（国立51校、公立3校、私立3校）で前年度と同数である。

（2）学生数

学生数は、58,765人（国立52,814人、公立3,956人、私立1,995人）で前年度より455人減少している。

このうち女子学生（9,515人）の占める比率は16.2%で前年度より0.3ポイント増加している。

（3）入学者数

入学者数は、10,994人（男子9,080人、女子1,914人）で前年度より121人増加している。

（4）教員数

教員数は、本務者が4,337人（男子4,004人、女子333人）で、前年度より20人減少している。また、兼務者は2,163人（男子1,743人、女子420人）である。

表12 学校数、学生数等の推移（高等専門学校）

区分	学校数（校）				学生数（人）					入学者数（人）				教員数 （本務者） （人）	
	計	国立	公立	私立	計	うち女子	国立	公立	私立	計	うち女子	国立	公立		私立
平成14	62	54	5	3	57,349	10,149	50,483	4,635	2,231	11,253	1,982	9,883	932	438	4,465
19	64	55	6	3	59,386	9,370	52,833	4,349	2,204	11,112	1,764	10,142	567	403	4,453
20	64	55	6	3	59,446	9,285	53,162	4,162	2,122	11,288	1,817	10,112	754	422	4,432
21	64	55	6	3	59,386	9,306	53,355	4,028	2,003	11,280	1,885	10,132	777	371	4,400
22	58	51	4	3	59,542	9,359	53,605	4,030	1,907	10,936	1,821	9,820	783	333	4,373
23	57	51	3	3	59,220	9,397	53,291	4,004	1,925	10,873	1,844	9,715	736	422	4,357
24	57	51	3	3	58,765	9,515	52,814	3,956	1,995	10,994	1,914	9,785	717	492	4,337

4 大学・大学院・短期大学の通信教育（表13）

（1）学校数

通信による教育を実施している学校数は65校（うち大学と大学院の両方で通信教育を行う学校は18校）で前年度と同数である。その内訳は、大学54校、短期大学11校となっている。

（2）学生数

学生数は大学215,595人（男子94,903人、女子120,692人）、大学院8,505人（男子4,957人、女子3,548人）、短期大学20,354人（男子5,399人、女子14,955人）で、前年度より大学は1,641人減少、大学院は264人、短期大学は865人それぞれ増加している。

① 正規の課程の学生数は大学171,048人（男子75,386人、女子95,662人）、大学院3,782人（男子2,291人、女子1,491人）、短期大学18,734人（男子5,157人、女子13,577人）で、前年度より大学は2,597人減少し、大学院は15人減少、短期大学は1,071人増加となっている。

② 正規の課程の学生の関係学科構成比をみると、大学では「社会科学」が25.7%で最も高く、次いで「教育」15.3%等の順である。また、大学院修士課程では「人文科学」が22.9%で最も高く、次いで「社会科学」17.5%の順、大学院博士課程では「人文科学」が23.5%で最も高く、次いで「教育」が11.7%の順である。短期大学では「教育」が64.8%で最も高く、次いで「社会」が25.9%の順である。

(3) 入学者数(正規の課程)

正規の課程の入学者数は大学14, 478人(男子6, 936人, 女子7, 542人), 大学院1, 275人(男子756人, 女子519人), 短期大学3, 783人(男子1, 025人, 女子2, 758人)で, 前年度より大学は72人増加し, 短期大学は102人, 大学院は12人それぞれ減少している。

表13 学校数, 学生数, 入学者数及び教員数(本務者)の推移
(大学・大学院・短期大学[通信教育])

区 分	大 学					大 学 院				
	学校数	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)	学校数	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)
平成14	校	人	人	人	人	校	人	人	人	人
	28	225,911	185,773	17,183	219	14	1,804	1,796	1,100	36
19	40	240,076	193,573	12,978	458	23	8,820	3,628	1,288	72
20	41	229,734	185,719	11,452	493	25	8,649	3,793	1,344	88
21	42	226,384	180,636	14,251	644	26	8,437	3,796	1,276	111
22	44	224,314	177,758	15,399	725	26	8,429	3,760	1,268	151
23	44	217,236	173,645	14,406	602	27	8,241	3,797	1,287	87
24	46	215,595	171,048	14,478	690	26	8,505	3,782	1,275	89

区 分	短 期 大 学				
	学校数	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)
平成14	校	人	人	人	人
	10	24,922	23,459	4,656	28
19	9	25,227	23,796	4,375	34
20	10	22,622	21,130	3,560	39
21	11	21,164	19,479	4,029	40
22	11	19,588	17,907	4,236	31
23	11	19,489	17,663	3,885	29
24	11	20,354	18,734	3,783	25

(注) 大学及び大学院の「学校数」には, 大学と大学院を併置する学校がそれぞれ含まれている。
大学と大学院を併置する学校は18校である。

[卒業後の状況調査]

1 大学（学部）卒業生（図3，図4，表14）

(1) 卒業生数

平成24年3月に大学（学部）を卒業した者（年度途中の卒業生を含む。以下同じ。）は、558,692人（男子311,488人，女子247,204人）で前年度より6,334人増加している。

これを設置者別にみると，国立101,244人（前年より396人増），公立27,542人（同547人増），私立429,906人（同5,391人増）である。

(2) 卒業生の状況（図3，図4，表14）

卒業生を状況別にみると，「大学院等への進学者」（就職し，かつ進学した者を含む。）65,683人（全卒業生数の11.8%）「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）357,011人（同63.9%），「臨床研修医」（予定者を含む。以下同じ。）8,893人（同1.6%），「専修学校・外国の学校等入学者」11,173人（同2.0%），「一時的な仕事に就いた者」19,569人（同3.5%），「左記以外の者」86,566人（同15.5%），「不詳・死亡の者」9,797人（同1.8%）である。

ア. 進学状況

① 大学院等への進学者数は65,683人（男子48,972人，女子16,711人）で，前年より4,782人減少している。

② 進学率（卒業生のうち大学院等への進学者及び就職し，かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は11.8%（男子15.7%，女子6.8%）で，前年より1.0ポイント低下している。

表14 状況別卒業生の推移（大学〔学部〕）

区分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)		臨床 研修医 (予定者 を含む)	専修学校・ 外国の学校 等入学者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外 の者	不詳・死亡 の者	(再掲)左記「進学 者」のうち就職してい る者(d)		進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a×100		
			うち正規 の職員等 でない	うち正規 の職員等 でない						計	男		女		
平成14	547,711	59,676	311,471	...	6,979	...	23,205	118,892	27,488	24	...	10.9	56.9	54.9	60.0
19	559,090	67,175	377,734	...	9,105	9,990	13,287	69,296	12,503	42	...	12.0	67.6	64.0	72.3
20	555,690	67,372	388,417	...	8,851	8,971	11,485	59,791	10,803	63	...	12.1	69.9	66.4	74.6
21	559,539	68,422	382,434	...	9,051	9,843	12,991	67,894	8,904	51	...	12.2	68.4	64.6	73.4
22	541,428	72,539	329,132	...	8,944	13,500	19,332	87,174	10,807	58	...	13.4	60.8	56.4	66.6
23	552,358	70,465	340,143	...	8,923	12,192	19,107	88,007	13,521	74	...	12.8	61.6	57.0	67.6
24	558,692	65,683	357,011	21,963	8,893	11,173	19,569	86,566	9,797	77	30	11.8	63.9	58.9	70.2

- (注) 1 「進学者」とは，大学院研究科，大学学部，短期大学本科，大学・短期大学の専攻科，別科へ入学した者である。
 2 「就職者」及び「(再掲)左記「進学者」のうち就職している者」については平成24年度より内訳を新設。なお「正規の職員等でない者」とは，雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当の者である。
 3 「左記以外の者」とは，進学でも就職でもないことが明らかな者である（進学準備中の者，就職準備中の者，家事の手伝いなど）。

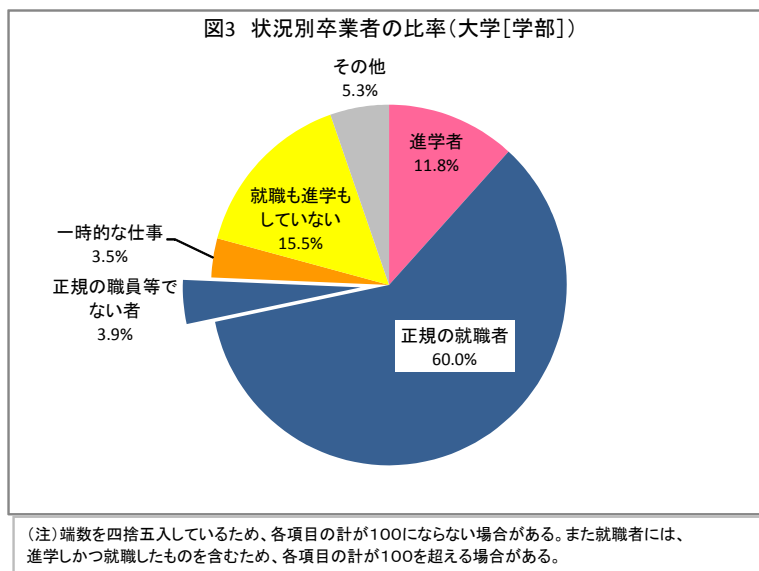
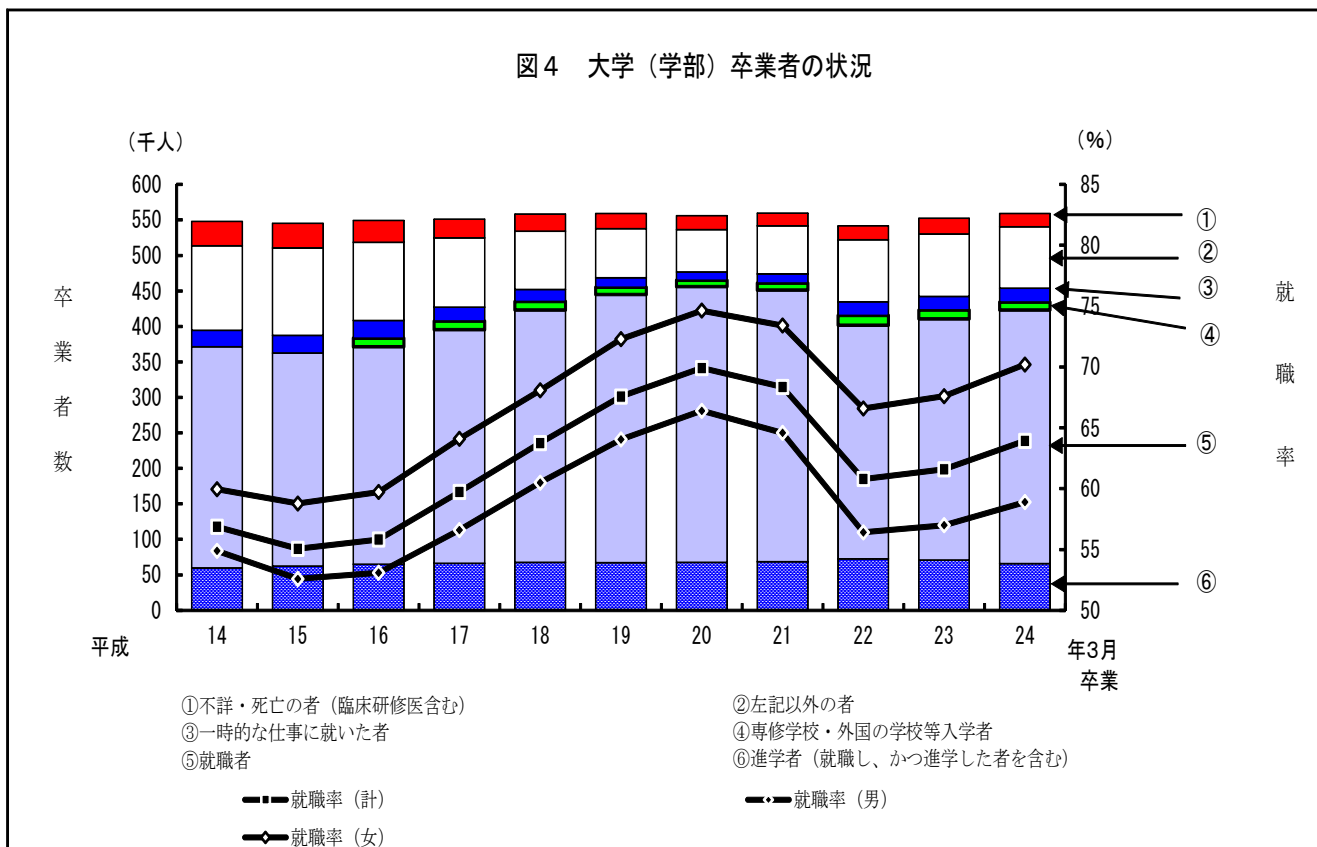


図4 大学（学部）卒業者の状況



イ. 就職状況（表15，図5～9）

- ① 就職者総数（「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は、357,088人（男子183,599人，女子173,489人）で，前年より16,871人増加している。
- ② 就職率（卒業者数のうち就職者総数の占める比率。以下同じ。）は，63.9%（男子58.9%，女子70.2%）で，前年より2.3ポイント上昇している。
 また，就職率63.9%のうち，正規の職員等である者は60.0%，正規の職員等でない者は3.9%となっている。
- ③ 就職率を関係学科別にみると，「家政」が77.8%で最も高く，次いで「教育」72.9%，「社会科学」70.1%等の順である。
- ④ 就職者総数を産業別にみると，「卸売業，小売業」が17.0%で最も高く，次いで「医療，福祉」13.7%，「製造業」13.1%，「教育，学習支援業」8.5%等の順である。
 また，男女別にみると，男子は「卸売業，小売業」17.8%，「製造業」16.9%，「公務（他に分類されるものを除く）」8.0%等の順であり，女子は「医療，福祉」20.9%，「卸売業，小売業」16.2%，「教育，学習支援業」11.3%等の順である。
- ⑤ 就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」が34.5%（うち技術者12.3%，保健医療従事者10.1%，教員6.3%等）で最も高く，次いで「事務従事者」29.5%，「販売従事者」23.6%等の順である。
 また，男女別にみると，男子は「専門的・技術的職業従事者」32.4%（うち技術者19.3%，教員4.4%等），「事務従事者」25.9%，「販売従事者」27.4%等の順であり，女子は「事務従事者」33.2%，「専門的・技術的職業従事者」36.7%（うち「保健医療従事者」15.7%，教員8.3%等），「販売従事者」19.7%等の順である。
- ⑥ 卒業後，進学も就職もしていない者は86,566人で，うち進学準備中の者は3,613人，就職準備中の者は49,398人，その他が33,555人となっている。

表 1 5 関係学科別就職率の推移 (大学 [学部])

(%)

区 分	計	人文科学	社会科学	理 学	工 学	農 学	保 健					商 船	家 政	教 育	芸 術	その他
							計	医 学	歯 学	薬 学	その他					
平成14年3月	56.9	54.7	61.8	43.0	56.3	54.8	46.4	0.1	24.5	55.6	80.9	26.1	68.5	55.7	36.6	58.0
19	67.6	69.5	74.8	46.2	60.0	61.0	55.2	0.0	—	57.8	86.1	39.2	81.6	68.5	47.8	72.3
20	69.9	72.9	77.7	47.3	60.7	62.7	58.1	0.0	0.0	60.5	85.9	57.7	82.7	71.7	48.9	75.5
21	68.4	70.7	76.2	46.1	58.3	62.3	59.3	0.1	0.4	62.6	85.1	100.0	80.6	72.3	45.5	72.4
22	60.8	61.1	68.5	39.1	47.2	57.6	58.8	0.1	—	37.5	85.9	—	73.1	70.1	38.0	63.9
23	61.6	62.0	68.5	39.4	48.1	56.9	61.0	0.1	0.0	9.9	86.4	25.0	74.8	72.7	40.0	63.2
24	63.9	64.3	70.1	40.3	50.2	58.7	68.1	0.1	0.0	82.2	87.1	—	77.8	72.9	44.0	65.1

図 5 産業別就職者数の比率 (学部)

(平成24年3月)

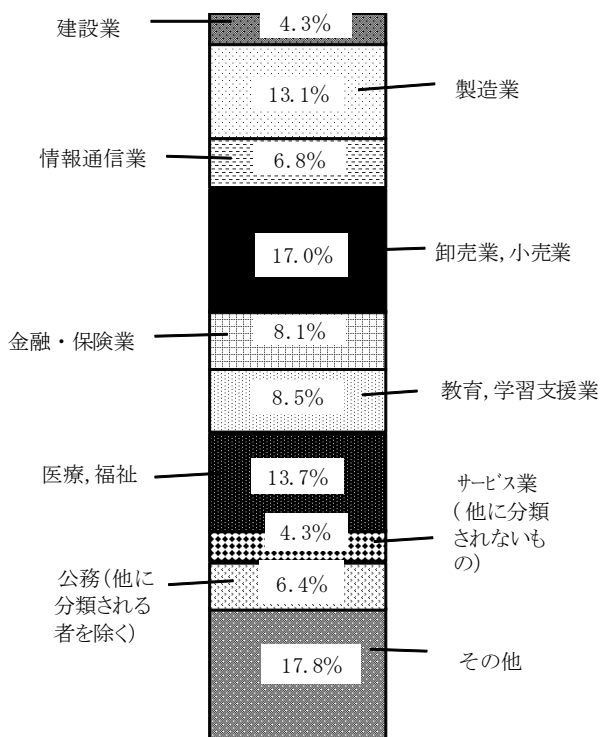


図 6 男女別就職者数の比率 (学部)

(平成24年 3月)

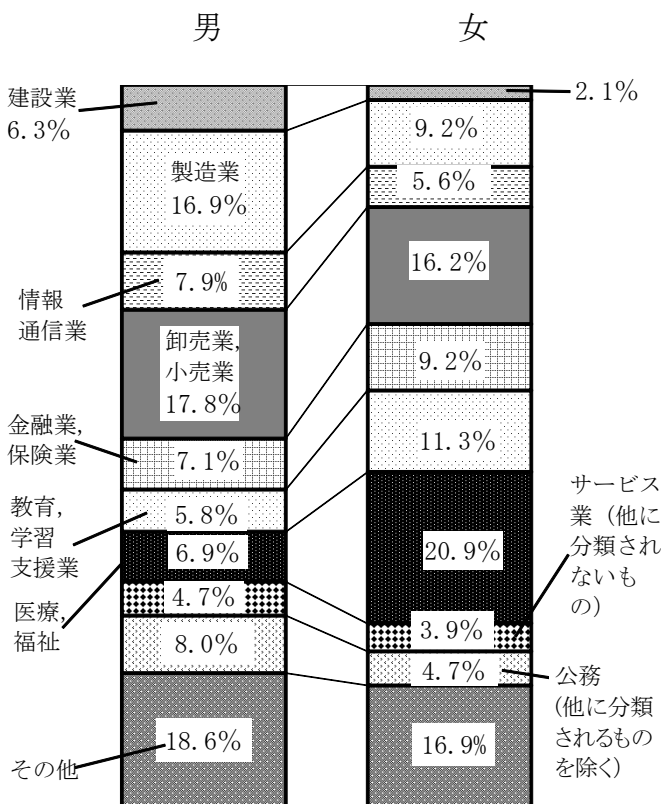


図7 大学(学部)卒業者の就職先
職業別(主な3職種)構成の状況

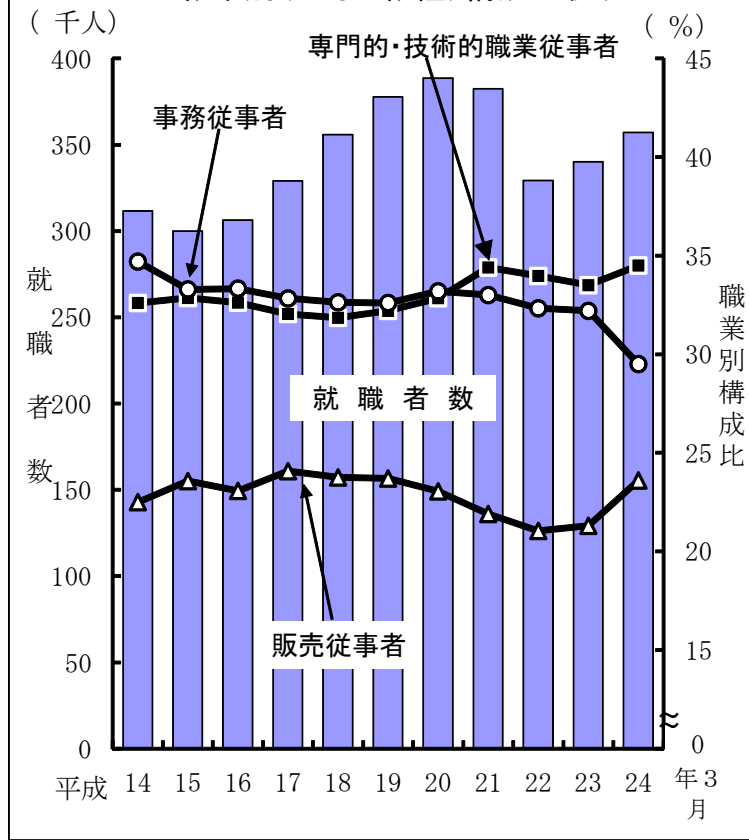


図8 男女別就職者数の比率(学部)
(平成24年3月)

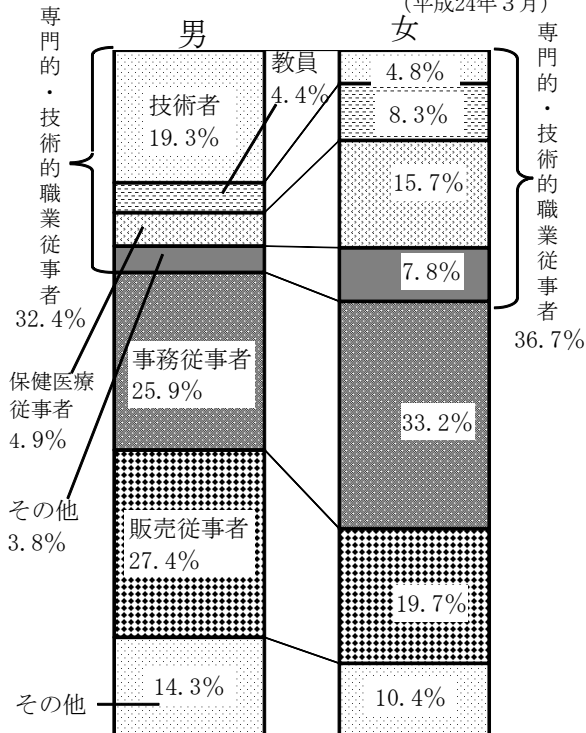
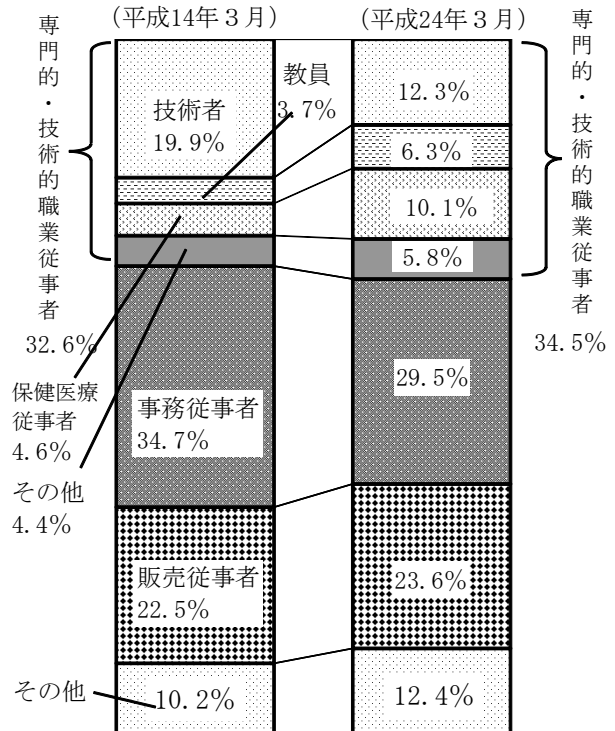


図9 職業別就職者数の比率(学部)
(平成14年3月) (平成24年3月)



(3) 学部卒業者の修業年数別の卒業状況(表16)

ア. 修業年限4年の学部卒業者について、修業年限別の卒業状況は次のとおりとなっている。

- ① 所定の修業年数4年で卒業した者(平成20年4月に入学し、平成24年3月に卒業した者)は、460,037人となっており、平成20年4月の入学者数584,023人の78.8%(前年77.5%)にあたる。
- ② 修業年数5年で卒業した者(修業年限を1年超過—平成19年度入学—)は、47,080人で、平成19年4月の入学者数の7.8%(前年7.6%)にあたる。
- ③ 修業年数6年で卒業した者(修業年限を2年超過—平成18年度入学—)は、11,418人で、平成18年4月入学者数の1.9%(前年1.6%)にあたる。
- ④ 修業年数7年及び8年以上で卒業した者については、それぞれ0.5%、0.3%となっている。

イ. 平成16年4月入学者について、平成24年3月までの卒業者(所定修業年数卒業者+1年超過卒業者+2年超過卒業者+3年超過卒業者+4年以上超過卒業者)の占める比率は90.1%となっており、平成15年4月の入学者が平成23年までに卒業した比率89.1%より1.0ポイント上昇している。

ウ. 最短の修業年限で卒業した者の比率(a)の推移をみると、平成20年4月入学者の(a)は78.8%で、前年より1.3ポイント上昇している。

表16 入学年度別卒業者の比率の状況(修業年限4年)(大学(学部))

区分	入学年度																									
	平成 20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	元	昭和 63					
卒業 年 各 年 3 月	平成 4																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	5																				81.2	8.2				
	6																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	7																				81.5	8.2	1.8			
	8																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	9																				82.2	8.4	1.9	0.5		
	10																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	11																				82.3	8.2	1.8	0.5	0.3	
	12																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	13																				82.1	7.8	1.8	0.5	0.3	
	14																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	15																				81.9	7.6	1.7	0.4	0.2	
	16																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	17																				80.9	7.6	1.6	0.4	0.2	
	18																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	19																				80.1	7.9	1.6	0.4	0.2	
	20																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	21																				79.0	8.5	1.8	0.5	0.3	
	22																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	23																				79.0	8.1	1.7	0.4	0.2	
	24																				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	
	計	78.8	85.3	86.2	90.1	90.1	89.1	88.3	88.1	88.5	89.1	89.6	89.7	91.1	91.5	91.8	92.0	92.4	92.8	92.4	92.1	91.5				

(注) (a) : 各年度の入学者のうち最低修業年限の4年で卒業した者の比率
 (b) : " 5年(1年超過) "
 (c) : " 6年(2年超過) "
 (d) : " 7年(3年超過) "
 (e) : " 8年以上(4年以上超過) "

2 大学院修了者

(1) 修了者数

平成24年3月に大学院の修士課程を修了した者は、78,711人(男子56,331人,女子22,380人)で前年より、4,031人増加している。博士課程を修了した者(所定の単位を修得し、学位を取得せずに満期退学した者を含む。以下同じ。)は16,260人(男子11,444人,女子4,816人)で前年より368人増加している。また、専門職学位課程を修了した者は、8,562人(男子6,124人,女子2,438人)で、前年より250人減少している。

これを設置者別にみると、修士課程では国立44,418人(修了者の56.4%)、公立4,958人(同6.3%)、私立29,335人(同37.3%)となっており、博士課程では国立11,443人(修了者の70.4%)、公立885人(同5.4%)、私立3,932人(同24.2%)となっている。また、専門職学位課程では、国立2,875人(修了者の33.6%)、公立365人(同4.3%)私立5,322人(同62.2%)となっている。

(2) 修了者の状況

ア. 修士課程(図10、図11)

修了者の状況別内訳は、「大学院等への進学者」7,564人(修了者の9.6%)、「就職者」(就職し、かつ進学した者を除く。)57,431人(同73.0%)、「左記以外の者」10,266人(同13.0%)、「不詳・死亡の者」1,692人(同2.1%)等となっている。

- ① 進学率は9.6%(男子9.3%,女子10.4%)で、前年より1.2ポイント低下している。
- ② 就職率は73.3%(男子77.9%,女子61.5%)で、前年より0.7ポイント上昇している。
また、就職率73.3%のうち、正規の職員等である者は70.1%、正規の職員等でない者は3.1%となっている。
- ③ 就職者総数を産業別にみると、「製造業」が43.0%と最も高く、次いで「情報通信業」10.8%、「教育,学習支援業」8.9%、「学術研究,専門・技術サービス」5.7%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が77.6%(うち技術者58.1%、教員6.9%等)で最も高く、次いで「事務従事者」12.0%、「販売従事者」3.7%等の順となっている。

イ. 博士課程(図12、図13)

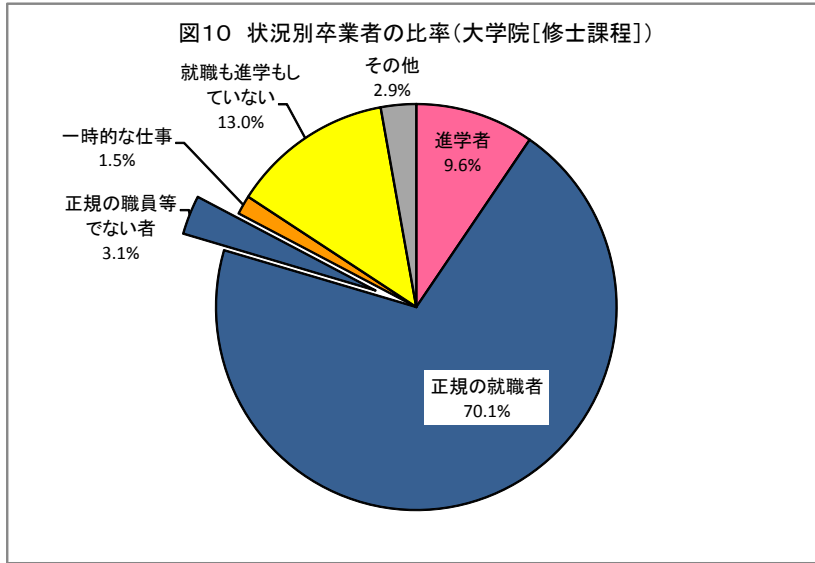
修了者の状況別内訳は、「就職者」(就職し、かつ進学した者を除く。)10,868人(修了者の66.8%)、「左記以外の者」3,003人(同18.5%)、「不詳・死亡の者」1,145人(同7.0%)等である。

- ① 就職率は67.3%(男子71.8%,女子56.5%)で、前年より3.4ポイント上昇している。
また、就職率67.3%のうち、正規の職員等である者は52.5%、正規の職員等でない者は14.8%となっている。
- ② 就職者総数を産業別にみると、「教育,学習支援業」が37.4%で最も高く、次いで「医療,福祉」24.5%、「製造業」13.9%等の順である。
- ③ 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が92.4%(うち、「教員」25.4%、「研究者」25.8%、「保健医療従事者」24.1%等)を占めている。

ウ. 専門職学位課程(図14)

修了者の状況別内訳は、「就職者」(就職し、かつ進学した者を除く。)3,674人(修了者の42.9%)、「左記以外の者」3,957人(同46.2%)、「不詳・死亡の者」565人(同6.6%)等である。

- ① 就職率は43.1%(男子43.6%,女子41.7%)で、前年より5.6ポイント上昇している。
- ② 就職者総数を産業別にみると、「教育,学習支援業」が21.9%と最も高く、次いで「製造業」16.4%、「情報通信業」8.6%、「学術研究,専門・技術サービス業」7.7%等の順である。
- ③ 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」40.2%(うち教員19.8%、技術者10.7%等)が最も高く、次いで「事務従事者」が30.1%等の順である。



(注) 端数を四捨五入しているため、各項目の計が100にならない場合がある。また就職者には、進学しかつ就職したものを含むため、各項目の計が100を超える場合がある。

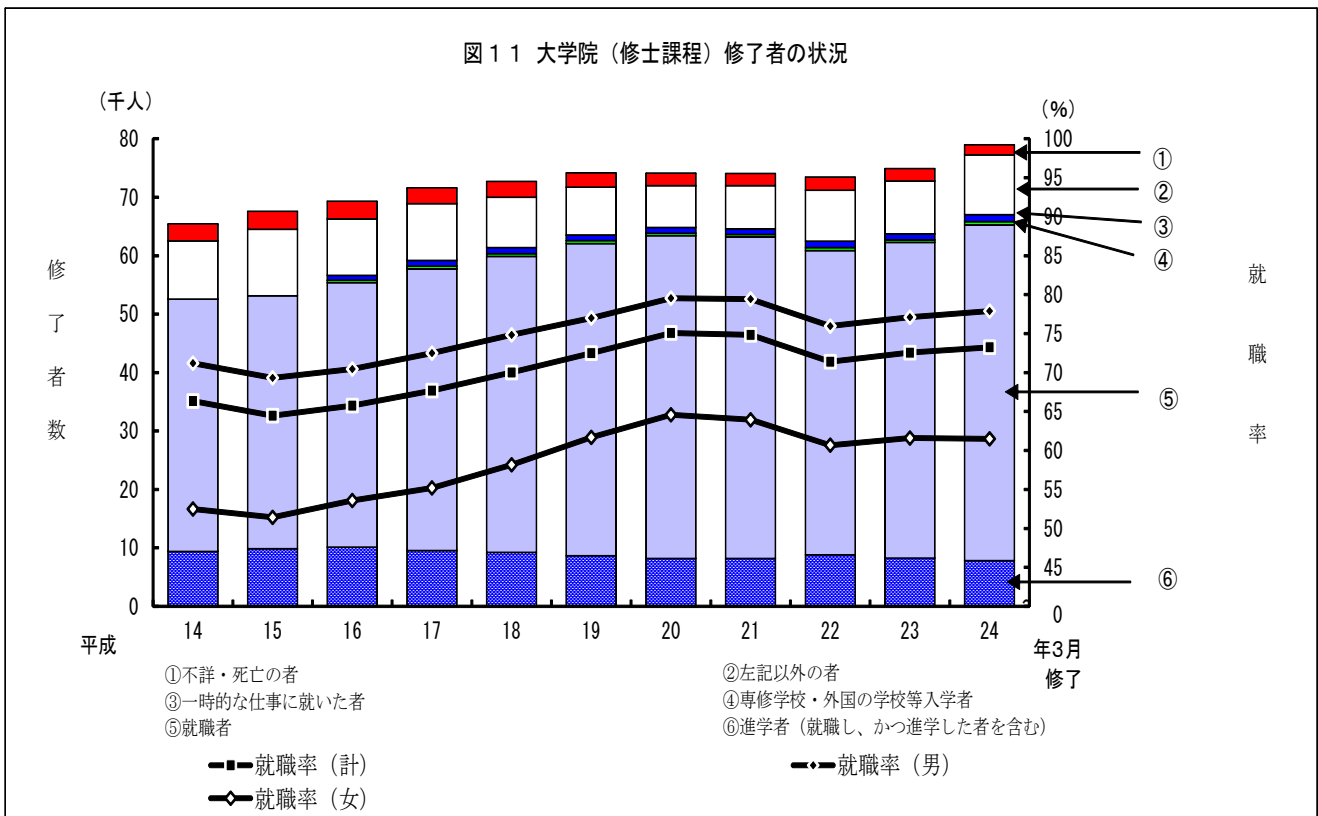
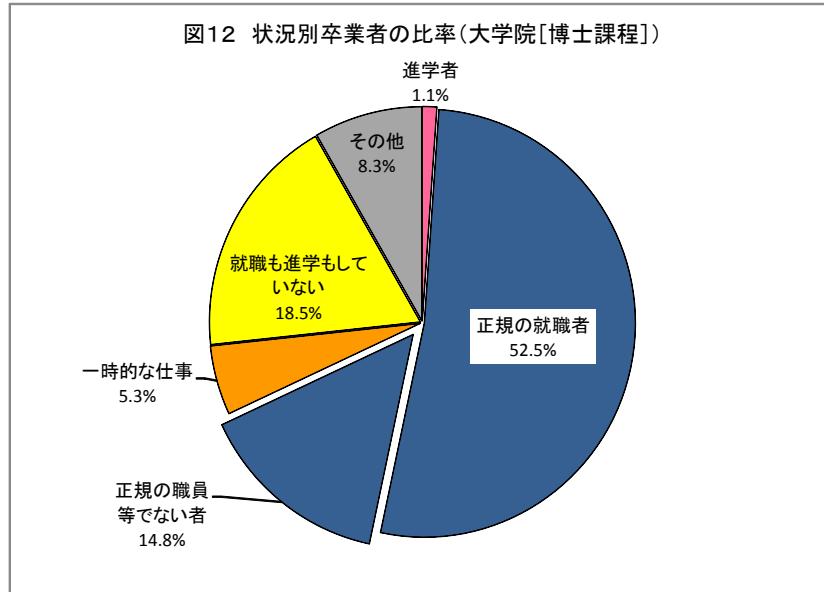


図12 状況別卒業生の比率(大学院[博士課程])



(注) 端数を四捨五入しているため、各項目の計が100にならない場合がある。また就職者には、進学しかつ就職したものを含むため、各項目の計が100を超える場合がある。

図13 大学院(博士課程)修了者の状況

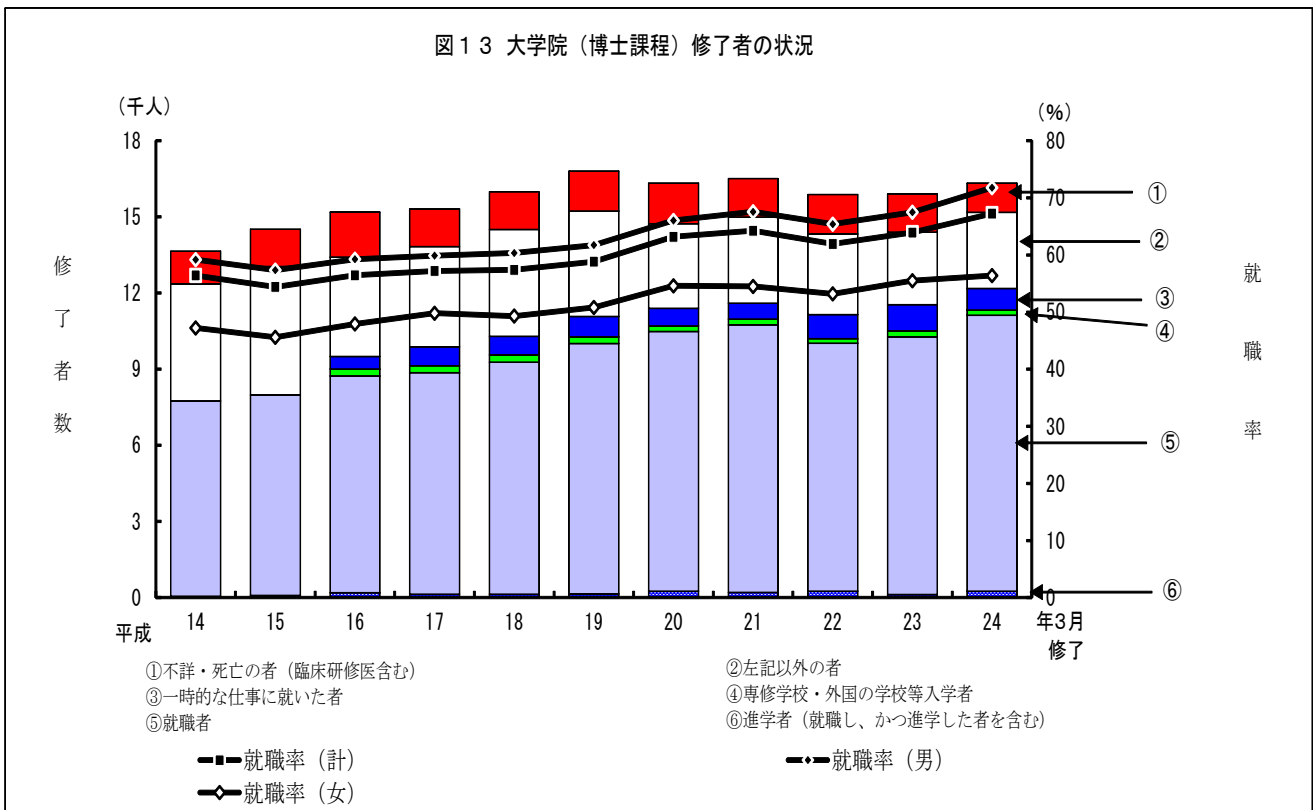
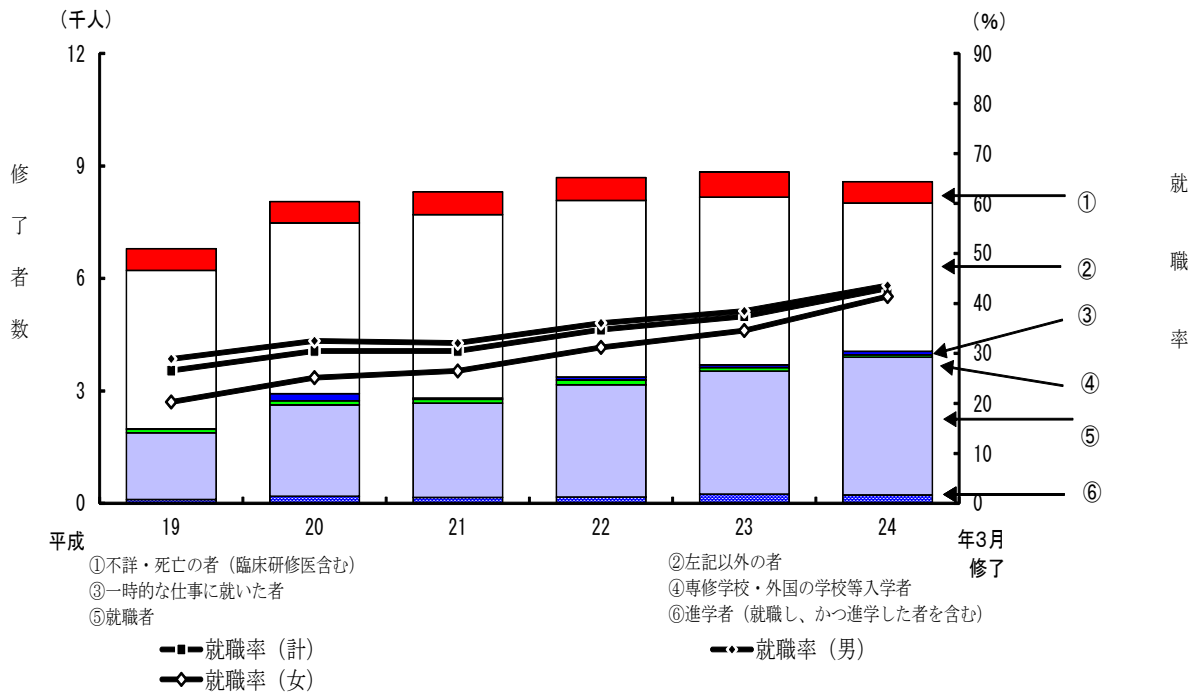


図14 大学院（専門職学位課程）修了者の状況



3 短期大学卒業生

(1) 卒業生数

平成24年3月に短期大学(本科)を卒業した者は65,682人(男子6,636人,女子59,046人)で,前年より1,189人減少している。

これを設置者別にみると,公立3,782人(前年より213人減),私立61,900人(前年より976人減)である。

(2) 卒業生の状況(表17,図15)

卒業生の状況別内訳は,「大学等への進学者」(就職し,かつ進学した者を含む。以下同じ。)6,961人(全卒業生の10.6%),「就職者」(就職し,かつ進学した者を除く。)46,506人(同70.8%),「専修学校・外国の学校等入学者」1,425人(同2.2%),「一時的な仕事に就いた者」2,673人(同4.1%),「左記以外の者」7,702人(同11.7%),「不詳・死亡の者」415人(同0.6%)である。

ア. 進学状況

- ① 大学等への進学者数は6,961人(男子1,663人,女子5,298人)で,前年より490人減少している。
- ② 進学率(卒業者のうち大学等への進学者及び就職し,かつ進学した者の占める比率。以下同じ。)は10.6%(男子25.1%,女子9.0%)で,前年より0.5ポイント低下している。

イ. 就職状況(表18,図16~18)

- ① 就職者総数(「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。)は46,509人(男子3,455人,女子43,054人)で,前年より922人減少している。
- ② 就職率(卒業者のうち就職者及び就職し,かつ進学した者の占める比率。以下同じ。)は70.8%(男子52.1%,女子72.9%)で,前年より2.6ポイント上昇している。
- ③ 就職率を関係学科別にみると,「教育」が85.0%で最も高く,次いで「保健」が83.4%,「家政」72.1%等の順である。
- ④ 就職者総数を産業別にみると,「医療,福祉」が46.0%で最も高く,次いで「教育,学習支援業」13.6%,「卸売業,小売業」12.0%等の順である。
- ⑤ 就職者総数を職業別にみると,「専門的・技術的職業従事者」59.1%(うち「保健医療従事者」16.4%,「教員」11.7%等)で最も高く,次いで「事務従事者」17.1%等の順である。

表 17 状況別卒業生の推移（短期大学〔本科〕）

区分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)		専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	不詳・死亡の者	(再掲) 左記「進学者」のうち就職している者(d)		進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a×100		
			うち正規の職員等でない	うち正規の職員等でない					計	男		女		
平成14年	130,597	13,335	78,756	11,138	25,422	1,946	23	...	10.2	60.3	47.2	61.6
19	92,100	11,026	64,623	...	2,120	4,285	9,452	594	—	...	12.0	70.2	54.0	72.3
20	83,900	9,525	60,413	...	1,853	3,215	8,400	494	1	...	11.4	72.0	55.9	74.0
21	78,056	9,005	54,585	...	1,553	3,450	9,037	426	2	...	11.5	69.9	53.1	71.9
22	71,394	8,385	46,722	...	1,728	3,880	9,986	693	1	...	11.7	65.4	48.0	67.3
23	66,871	7,451	45,580	...	1,488	3,208	8,642	502	7	...	11.1	68.2	49.5	70.1
24	65,682	6,961	46,506	6,290	1,425	2,673	7,702	415	3	—	10.6	70.8	52.1	72.9

(注) 1 「進学者」とは、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科・別科へ入学した者である。
 2 「就職者」及び「(再掲) 左記「進学者」のうち就職している者」については平成24年度より内訳を新設。なお「正規の職員等でない者」とは、雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当の者である。
 3 「左記以外の者」とは、進学でも就職でもないことが明らかな者である（進学準備中の者、就職準備中の者、家事の手伝いなど）。

図 15 短期大学（本科）卒業生の状況

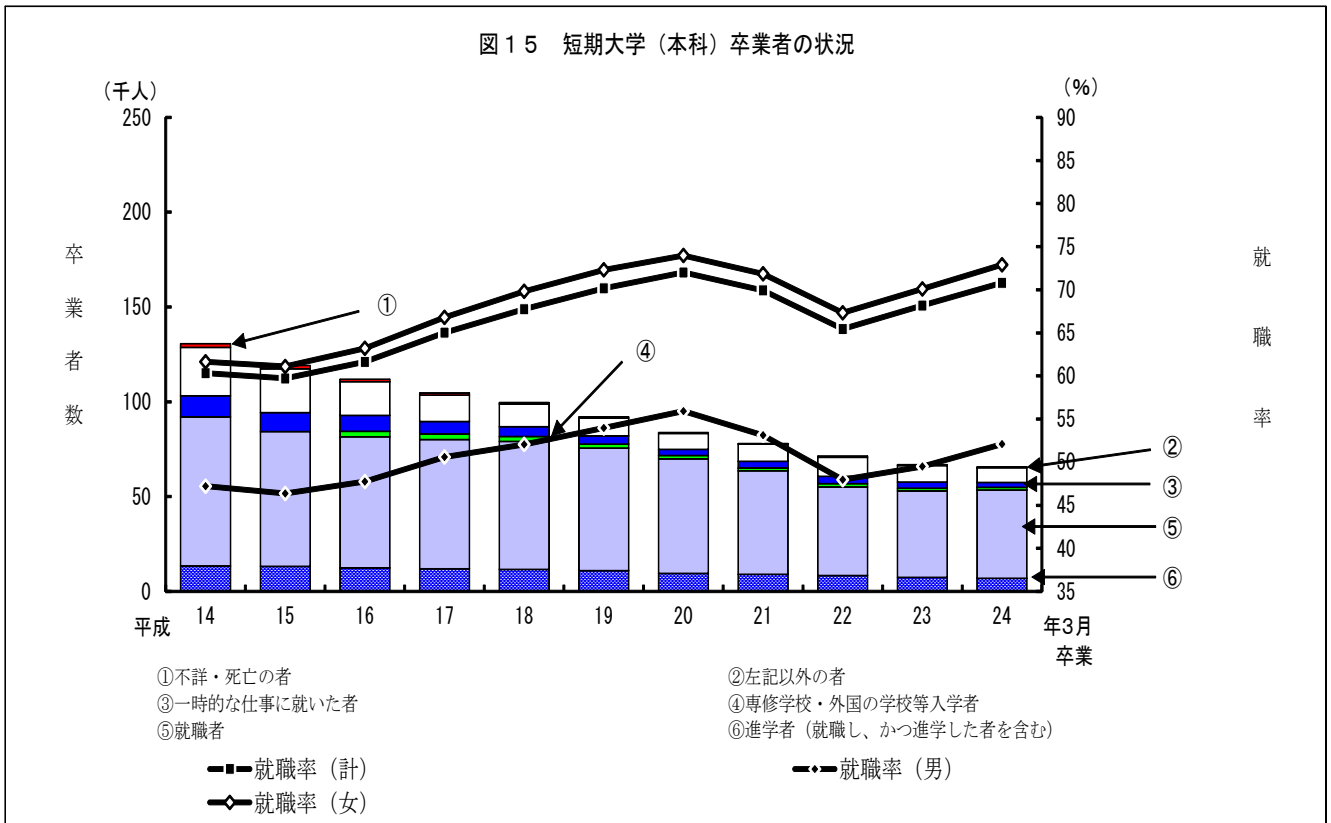


表 18 関係学科別就職率の推移（短期大学〔本科〕）

(%)

区分	計	人	文	社	会	教	養	工	業	農	業	保	健	家	政	教	育	芸	術	そ	の	他
平成14年3月	60.3	48.7	62.4	54.7	57.2	46.3	74.2	56.8	76.2	30.5	64.1											
19	70.2	56.1	72.1	76.5	61.9	44.7	78.7	70.6	80.1	34.9	66.8											
20	72.0	57.9	73.7	75.8	64.5	45.1	78.1	73.2	81.6	36.7	69.6											
21	69.9	53.7	72.0	71.5	62.1	35.8	80.8	69.5	81.8	35.3	65.9											
22	65.4	44.5	65.4	61.5	52.3	33.5	83.5	63.2	81.2	32.7	60.2											
23	68.2	48.0	66.4	66.4	53.6	35.4	81.7	68.8	83.1	31.9	63.3											
24	70.8	46.9	67.7	70.4	57.0	37.6	83.4	72.1	85.0	34.5	66.9											

図16 産業別就職者数の比率(本科)
(平成24年3月)

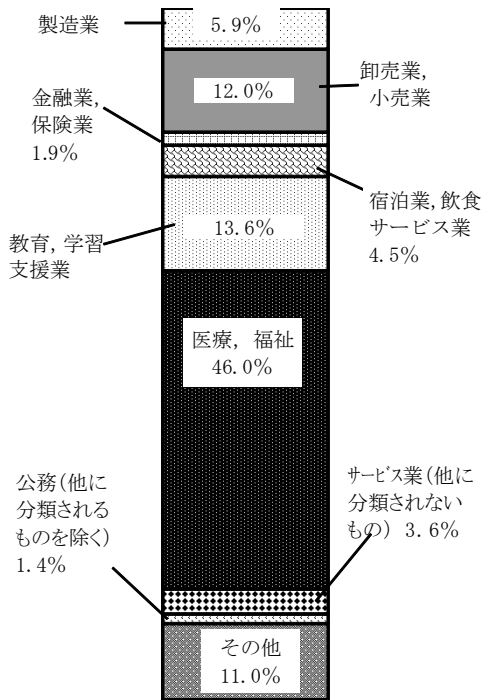


図17 職業別就職者数の比率(本科)
(平成14年3月) (平成24年3月)

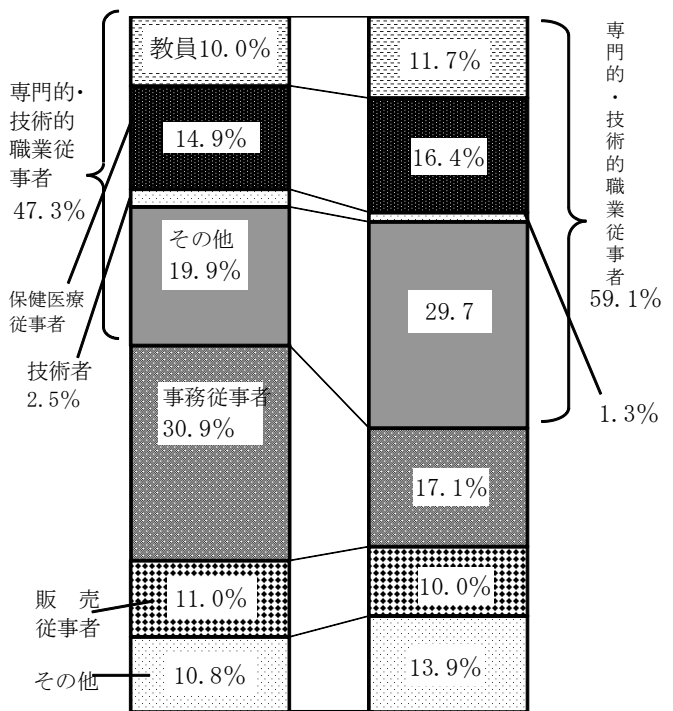
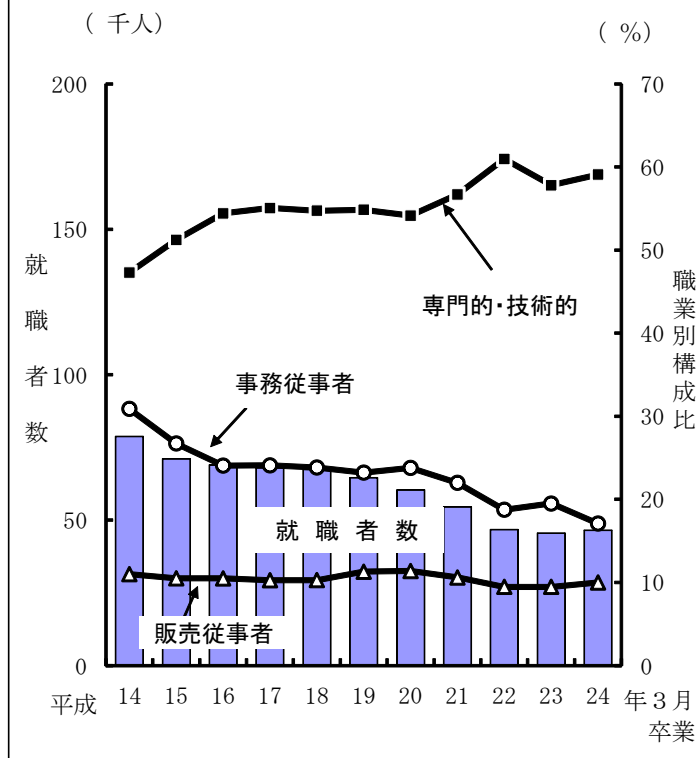


図18 短期大学(本科)卒業者の就職先職業別(主な3職種)構成の状況



4 高等専門学校卒業生

(1) 卒業者数

平成23年3月に高等専門学校を卒業した者10,163人(男子8,547人,女子1,616人)で,前年より8人増加している。

これを設置者別にみると,国立9,094人,公立701人,私立368人である。

(2) 卒業者の状況(表19,図19)

卒業者の状況別内訳は「大学等への進学者」3,974人(全卒業者数の39.1%),「就職者」(就職し,かつ進学した者を除く。)5,854人(同57.6%),「左記以外の者」199人(同2.0%)等である。

ア. 進学状況

① 大学等への進学者数は3,974人(男子3,498人,女子476人)で,前年より316人減少している。

② 進学率は,39.1%(男子40.9%,女子29.5%)で,前年より3.1ポイント低下している。

イ. 就職状況

① 就職者総数(「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ)は5,854人(男子4,795人,女子1,059人)で,前年より335人増加している。

② 就職率(卒業者のうち就職者及び就職し,かつ進学した者の占める比率。)は57.6%(男子56.1%,女子65.5%)で,前年より3.3ポイント上昇している。

③ 就職者総数を産業別にみると,「製造業」が56.7%と最も高く,次いで「情報通信業」10.4%,「電気・ガス・熱供給・水道業」7.8%,「建設業」9.1%等の順である。

④ 就職者総数を職業別にみると,「専門的・技術的職業従事者」が93.1%(うち技術者92.6%等)を占めている。

表19 状況別卒業者の推移(高等専門学校)

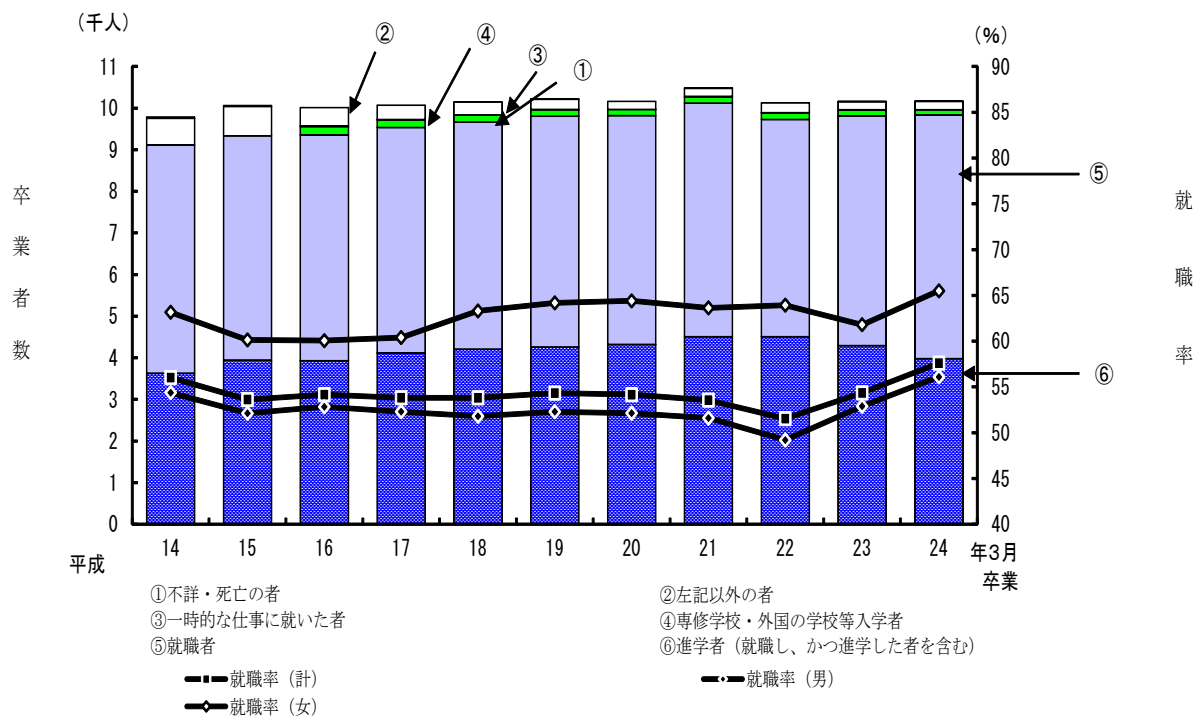
区分	計 (a)	大学等への 進学者 (b)	就職者 (c)				左記以外 の者	不詳・死亡 の者	(再掲)左記「進学者」の うち就職している者(d)		進学率 (b/a) ×100	就職率 (c+d)/a ×100
			うち正規 の職員等 でないもの	専修学校・ 外国の学校 等入学者	一時的な仕 事に就いた 者	うち正規 の職員等 でないもの			うち正規 の職員等 でないもの			
平成14年	9,780	3,628	5,479	…	…	…	643	30	—	…	37.1	56.0
19	10,207	4,252	5,546	…	159	5	244	1	—	…	41.7	54.3
20	10,160	4,316	5,501	…	146	2	195	—	1	…	42.5	54.2
21	10,474	4,504	5,610	…	155	9	195	1	—	…	43.0	53.6
22	10,126	4,506	5,219	…	155	5	241	—	—	…	44.5	51.5
23	10,155	4,290	5,518	…	143	7	196	1	1	…	42.2	54.3
24	10,163	3,974	5,854	6	129	5	199	2	—	—	39.1	57.6

(注) 1 「大学等への進学者」とは,大学学部,短期大学本科,大学・短期大学の専攻科・別科へ進学した者である。

2 「就職者」及び「(再掲)左記「進学者」のうち就職している者」については平成24年度より内訳を新設。なお「正規の職員等でない者」とは,雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当の者である。

3 「左記以外の者」とは,進学でも就職でもないことが明らかな者である(進学準備中,就職準備中の者,家事の手伝いなど)。

図19 高等専門学校卒業者の状況



[学校施設調査]

(1) 学校土地面積 (表20)

学校土地面積は、大学1,522,890千㎡、短期大学9,253千㎡、高等専門学校6,291千㎡で、前年度に比べ、大学ではいずれも増加し、短期大学ではいずれも減少し、高等専門学校ではいずれも横ばいとなっている。

表20 学校土地面積

(千㎡)

区 分	大 学					短 期 大 学				高 等 専 門 学 校			
	計	国 立	公 立	私 立	放送大学 学園立	計	国 立	公 立	私 立	計	国 立	公 立	私 立
平成14年度	1,503,780	1,330,375	14,236	159,113	56	18,836	218	4,226	14,392	6,312	5,704	440	168
19	1,515,215	1,331,827	17,609	165,779	(65)	11,946	—	869	11,077	6,315	5,865	272	178
20	1,515,564	1,332,023	17,738	165,803	(65)	10,950	—	795	10,154	6,320	5,865	272	183
21	1,517,947	1,332,030	18,701	167,217	(87)	10,671	—	704	9,966	6,321	5,866	272	183
22	1,519,625	1,332,756	19,050	167,819	(87)	10,214	—	678	9,536	6,332	5,877	272	183
23	1,520,383	1,331,004	18,949	170,430	(87)	9,816	—	676	9,140	6,291	5,890	272	129
24	1,522,890	1,331,285	19,454	172,151	(83)	9,253	—	556	8,697	6,291	5,890	273	129

(注) 放送大学学園立の () 内の数値は私立の再掲である。

(2) 学校建物面積 (表21)

学校建物面積は、公立大学4,959千㎡、私立大学42,079千㎡、公立短期大学218千㎡、私立短期大学3,006千㎡、公立高等専門学校122千㎡、私立高等専門学校50千㎡で、前年度に比べ、大学ではいずれも増加し、短期大学ではいずれも減少し、高等専門学校ではいずれも横ばいとなっている。

表21 学校建物面積

(千㎡)

区 分	大 学			短 期 大 学		高 等 専 門 学 校	
	公 立	私 立	放送大学 学園立	公 立	私 立	公 立	私 立
平成14年度	3,954	32,328	80	562	4,585	136	54
19	4,497	38,197	(89)	371	3,644	122	56
20	4,553	39,036	(89)	323	3,440	122	56
21	4,667	40,154	(110)	270	3,378	122	56
22	4,799	40,846	(110)	258	3,205	122	56
23	4,853	41,444	(110)	257	3,177	122	50
24	4,959	42,079	(109)	218	3,006	122	50

(注) 放送大学学園立の () 内の数値は私立の再掲である。

[学校経費調査]

(1) 国・公立大学等の経費（表22）

国立は2,771,764百万円、公立は551,518百万円で、前年度に比べ、公立附置研究所以外は増加している。

表22 国・公立大学等の経費

(単位 百万円)

区 分	国 立					公 立					放送大学 学 園 立
	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	大 学
平成13 会計年度	2,243,491	1,463,643	10,244	679,762	89,841	513,580	267,109	33,773	208,375	4,324	16,980
18	2,431,349	1,439,894	1,754	876,078	113,624	486,920	270,644	16,810	196,217	3,249	...
19	2,599,675	1,545,909	290	934,208	119,267	487,141	275,226	15,655	192,261	3,999	...
20	2,682,728	1,592,768	39	972,236	117,685	506,472	287,096	14,914	199,871	4,592	...
21	2,983,885	1,778,006	6	1,066,657	139,216	511,188	290,200	13,359	203,291	4,338	...
22	2,668,701	1,513,927	-	1,028,672	126,102	516,203	284,619	12,848	215,381	3,355	...
23	2,771,764	1,552,579	-	1,090,058	129,128	551,518	304,685	13,080	230,424	3,328	...

(2) 国・公立大学法人立の高等専門学校等の経費（表23）

前年度に比べ、高等専門学校、幼稚園、特別支援学校及び専修学校は減少し、他の学校種はいずれも増加している。

(単位 百万円)

区 分	高 等 専 門 学 校	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	中 等 教 育 学 校	特 別 支 援 学 校	専 修 学 校	各 種 学 校
平成13 会計年度	93,235	3,389	20,197	18,164	6,583	1,625	14,502	378	44
18	83,835	3,490	21,811	19,814	7,658	928	15,590	106	...
19	85,662	3,640	22,918	21,573	7,313	1,740	15,387	168	...
20	89,371	3,592	23,278	18,865	7,177	1,807	15,475	126	...
21	92,675	4,275	23,638	22,587	7,715	3,067	16,405	164	...
22	82,488	3,984	20,177	17,657	6,295	2,134	15,549	159	...
23	74,737	3,965	21,223	17,932	6,448	2,682	15,169	84	...

(注) 「特別支援学校」の平成18会計年度以前は、「盲・聾・養護学校」の経費を計上している。

(3) 国・公立大学の授業料等及び補助金収入（表24）

授業料等収入は、国立1,588,813百万円、公立344,642百万円で、前年度に比べ、国立大学、国立附置研究所及び公立短期大学は減少し、他の学校種は増加している。

表24 国・公立大学の授業料等及び補助金収入

(単位 百万円)

区分	授 業 料 等 収 入											補 助 金 収 入			
	国 立					公 立					放送大学 学 園 立	公 立			放送大学 学 園 立
	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	大 学	計	大 学	短 期 大 学	大 学
平成13 会計年度	1,020,846	428,633	2,880	578,514	10,819	252,710	77,661	9,142	165,793	115	5,306	1,749	1,727	21	11,174
18	1,333,209	586,096	743	716,257	30,114	273,927	98,320	5,851	169,560	196	...	80,020	79,458	562	...
19	1,396,678	596,951	102	766,064	33,560	286,137	104,534	5,450	175,898	254	...	96,047	92,679	3,368	...
20	1,468,945	622,910	15	813,257	32,763	302,397	113,250	5,404	183,315	429	...	99,073	95,181	3,892	...
21	1,501,150	633,141	1	830,853	37,155	316,663	117,343	4,714	194,186	420	...	123,099	118,951	4,148	...
22	1,540,034	616,873	-	882,351	40,810	330,124	119,547	4,176	206,129	272	...	123,483	119,843	3,640	...
23	1,588,813	608,529	-	940,349	39,936	344,642	125,337	3,805	215,134	366	...	131,110	126,513	4,598	...

(4) 国・公立大学法人立の高等専門学校等の授業料等収入（表25）

授業料等収入は前年度に比べ、高等専門学校、高等学校及び中等教育学校は増加し、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校及び専修学校は減少している。

表25 国・公立大学法人立の高等専門学校等の授業料等収入

(単位 百万円)

区分	授 業 料 等 収 入										補助金収入
	高 等 専 門 学 校	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	中 等 教 育 学 校	特 別 支 援 学 校	専 修 学 校	各 種 学 校	公 立 大 学 法 人 立 高 等 専 門 学 校	
平成13 会計年度	12,807	617	138	172	1,181	84	17	54	2	...	
18	15,125	573	124	166	1,140	99	27	20	
19	15,794	568	105	142	1,177	109	18	28	
20	18,285	561	125	138	1,326	101	32	28	...	2,529	
21	17,761	547	116	137	1,312	99	31	27	...	2,419	
22	16,939	539	116	151	1,318	123	51	25	...	2,368	
23	17,053	517	106	144	1,324	140	43	22	...	3,995	

(注) 「特別支援学校」の平成18会計年度以前は、「盲・聾・養護学校」の授業料等収入を計上している。